



定例記者会見

高病原性鳥インフルエンザについて

豚流行性下痢(PED)について

「海外アーティスト招へい事業in阿蘇」について

認知症に関する県の取組みの成果について

「海外アーティスト招へい事業in阿蘇」 ～参加アーティストを募集します！～

- 「阿蘇」の世界文化遺産登録を見据え、その魅力や情報を広く世界に向けて発信する！
- 海外アーティストとの交流が県内の文化活動を活性化する！



「海外アーティスト招へい事業in阿蘇」

海外の
アーティスト



「阿蘇」地域に70日程度
滞在して創作活動する！

事業内容について

滞在期間中

「阿蘇」をテーマとした芸術作品を自由に制作・表現

- ・作品発表会
- ・地域住民や県内アーティストとの交流会やワークショップ



帰国後

- ・作品の発表や芸術活動を通じて、海外から「阿蘇」を積極的にPR
- ・県内アーティストとの継続的な文化交流



認知症サポーター



- ◎ 5年連続で養成率日本一を達成(H21～H25)
- ◎ 認知症サポーターの数は、190,431人
(H26.3末)
- ◎ 県人口に占める割合10.4%
(県民の10人に1人が 認知症サポーター)
- ◎ 県内各地でサポーターによる活動が広がりに
つつある。

認知症サポーターの活動状況①

◎傾聴ボランティア(多良木町 他)



研修を受けた認知症サポーター
がボランティアグループを立上げ

施設や一人暮らし高齢者宅を訪
問し、傾聴活動を実施

認知症サポーターの活動状況②

◎徘徊模擬訓練、高齢者見守り活動(熊本市 他)



高齢者への声かけや、関係機関への
連絡を模擬的に訓練



高齢者宅を訪問し
ての見守り活動

認知症サポーターの活動状況③

◎島木の茶飲ん場(山都町 島木地区)



へき地保育所
跡地を活用



認知症サポーター
講座を受講した地域
住民が活動の中心



地域の高齢者が
茶飲み話をする場

認知症アジア学会



- ◎ 認知症アジア学会 (ASAD2015) の熊本誘致が実現。
- ◎ 日本で初めての開催。
- ◎ 平成27年9月14日(月)から16日(水)、KKRホテル熊本で開催。

認知症アジア学会



- ◎ 中国、インドネシア、韓国等のアジア各国をはじめ国内外から、約400人の参加が見込まれる。
- ◎ 本県の認知症医療システム(熊本モデル)を国内外にアピールするチャンス。

「熊本モデル」認知症医療連携体制

